

（４）平成１６年台風１８号

気象・降雨概要

8月28日9時にマーシャル諸島近海で発生した台風18号は、日本の南海上を北西に進み、9月5日に大型の非常に強い勢力で沖縄本島地方を通過した後、東シナ海を北上し、進路を北東に変え、7日9時半頃、長崎県長崎市付近に上陸して九州北部を横断した。7日午後には山陰沖に達し、日本海を加速しながら北東に進み、8日朝には北海道西海上を北上し、15時に宗谷海峡で温帯低気圧となった。

この台風により、沖縄地方、九州地方、中国地方、北海道地方などで最大瞬間風速50m/s以上の猛烈な風を観測し、多くの地点で強風の記録を更新した。

また、九州地方の一部では900mmを越える大雨を観測した所があった。さらに瀬戸内海沿岸、西日本から北日本にかけての日本海沿岸などで高潮による被害が発生した。

被害の状況



【高潮・波浪により洗掘された河岸
（広島県広島市）】



【洪水が民家に押し寄せている状況
（宮崎県西米良村）】



【暴風雨による越波（広島県広島市）】



【がけ崩れにより損壊した家屋
（広島県筒賀村）】

死者41名、行方不明者4名

床上浸水1,598棟、床下浸水6,762棟

家屋全壊109棟、半壊848棟、一部破損42,183棟

公共土木施設被害：河川786件、海岸84件等（1月14日現在被害報告）

土砂災害発生件数78件